

4) 健診・分娩機能の確保等

① 分娩機能の確保

南和医療圏の分娩取扱い医療機関が減少したことから、南奈良総合医療センターにおいて奈良県立医科大学附属病院と連携して分娩機能の確保を図ります。

② 医師に対する支援

産科医、新生児科医等の確保のため、処遇改善や育成支援策として、産科医に対し分娩手当を支給する医療機関等に経費の一部を支援するなど、医師の待遇改善を図ります。

③ 周産期医療関係者等の研修

総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センターを中心に、周産期医療関係者に対して研修等を実施し、様々な症例等への対応力の向上を図ります。

5) 周産期医療における災害対策等

搬送が必要な小児・妊産婦の情報を収集し、被災地内の適切な医療機関への搬送コーディネートや被災地外への搬送方法、受け入れ体制の情報を収集する小児・周産期災害医療コーディネーターを確保・充実していきます。また、災害時だけでなく新興感染症等の感染発生のような非常時における周産期医療体制の整備について、検討します。

(数値目標)

(1) 数値目標の詳細

指標	現状値	目標値 計画最終年度	出典等
ハイリスク妊婦の 県内受入率	100.0% 令和4(2022)年	100%	奈良県地域医療連携課調べ